第158回 大原美術館 ギャラリーコンサート

児玉桃 ピアノ・リサイタル

踊りと風景 ～大原美術館をイメージして～

2020年
4月18日（土）開場18時/開演18時30分
大原美術館・本館2階ギャラリー
チケット発売3月24日（火）9時～
【定員200名】

全自由席 5,000円（税込）
学生シート 1,000円（税込）【小学生～25歳までの学生対象・限定先着30席】
※公演当日、入場時に学生証の提示をお願いいたします。

お申し込み・お問合せ
大原美術館 TEL086-422-0005 ＊月曜休館、ただし2/10・24は開館
くらしきコンサート TEL086-422-2140 ＊土・日・祝日休業

第158回 大原美術館 ギャラリーコンサート

児玉 桃 ピアノ・リサイタル
Momo Kodama Piano Recital

踊りと風景 ～大原美術館をイメージして～

パリを拠点に国際的に活躍するピアニスト児玉桃さんが、大原美術館ギャラリーコンサートに８年半ぶりのソロ・リサイタルで登場いたします。今回は、フランスの作曲家を中心としたプログラムです。フランス音楽は感覚的なイメージに強く訴えるものが多く、色彩感が際立っていることから絵画的な音楽ともいわれます。ショパンのパリ時代に書かれた名曲と併せて、美術館の名画と呼応する鮮やかな音色の世界をお楽しみいただければ幸いです。うららかな春の宵に、当館のベヒシュタインの響きで、児玉さんの華麗なピアニズムをご堪能下さい。

児玉 桃
Momo Kodama

J.S.バッハからメシアンを含む現代作品まで、幅広いレパートリーと豊かな表現力で活躍を続ける国際派。幼少の頃よりヨーロッパで育ち、パリ国立高等音楽院に学ぶ。1991年、ミュンヘン国際コンクールに最年少で最高位に輝く。
その後、ケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル、小澤征爾指揮ボストン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、北ドイツ放送交響楽団との共演、デュトワ指揮NHK交響楽団とのアジアツアーのソリストを務めるなど着実に世界的なキャリアを築く。
2008年は、メシアン生誕100年を記念したシリーズ公演（全5回）を行い高い評価を得た。2013年にはルツェルン音楽祭、ウィグモアホール、東京オペラシティ文化財団の共同委嘱による「細川俊夫：練習曲集」をルツェルン音楽祭にて世界初演、12月には東京オペラシティにて日本初演、翌年ロンドン・ウィグモアホールでも演奏。
最近の活動としては、ウィーン・ムジークフェラインへのデビュー（メルクル指揮ウィーン・トーンキュンストラー管）、ノリントン指揮フランス放送フィル、フォスター指揮パリ室内管弦楽団との共演をはじめ、室内楽では、ベルリン・コンツェルトハウスでの室内楽など、ヨーロッパでも活躍の幅を広げている。
CDはオクタビア・レコードより「ドビュッシー：impressions」、「ショパン・ピアノ作品集」、「メシアン：幼子イエスに注ぐ20のまなざし」、「メシアン：鳥のカタログ」全集がリリースされており、ヨーロッパでも高い評価を得ている。また、ECMよりリリースされたCD「鐘の谷～ラヴェル、武満、メシアン：ピアノ作品集」は、ニューヨーク・タイムズ、サンフランシスコ・クロニクル、ル・モンド・ド・ラ・ムジーク、仏クラシカ・マガジン、テレラマ等で大絶賛を博し、2017年にはECM第2弾、「点と線・ドビュッシー＆細川俊夫：練習曲集」をリリース。さらに、ペンタトーンより、姉の麻里との連弾によるチャイコフスキー3大バレエ抜粋をリリースしている。
2009年中島健蔵音楽賞および、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。パリ在住。

《曲　目》

■ドビュッシー
前奏曲 第1巻 より
- デルフィの舞姫
- ヴェール（帆）
- アナカプリの丘
- 雪の上の足跡
- 亜麻色の髪の乙女
- ミンストレル

■ショパン
マズルカ Op.24
スケルツォ 第2番 変ロ短調 Op.31

＊＊＊

■ドリーブ
「王の楽しみ」より
- ガイヤード
- パヴァーヌ
- メヌエット
- パスピエ
- ガイヤード

■デュカス
ラモーの主題による変奏曲

■ドビュッシー
喜びの島

大原美術館ギャラリーコンサート使用ピアノ『ベヒシュタイン』についての詳しい情報はこちらから

大原美術館 https://www.ohara.or.jp
くらしきコンサート http://www.kuracon.jp